

年を重ねる喜び、悲しみ、辛さ、
死と隣り合わせと感じる孤独、
しかしそこにある潔さ、面白さ、
暖かくて悲しくて素晴らしい今…

ピアノ 舘野泉

©Akira Muto

朗読 草笛光子

舘野泉 & 草笛光子

「音楽と物語の世界」

演出 栗原崇

2023年

6月9日 金

開場

14:30

開演

15:00

チケット料金

6,500円

全席

指定

クアーズテック秦野カルチャーホール小ホール(秦野市文化会館)

●チケットぴあ

- ▶WEB予約… <https://t.pia.jp/> (Pコード: 519270)
- ▶店頭購入… セブンイレブン (Pコード: 519270)

発売場所

セブンイレブン
ファミリーマート
直接配送等



●ローチケ

- ▶WEB予約… <https://l-tike.com/> (Lコード: 35442)
- ▶店頭購入… ローソン・ミニストップ (Lコード: 35442)

発売場所

ローソン
ミニストップ
直接配送等



●クアーズテック秦野カルチャーホール

- ▶窓口購入(秦野市平沢82)または電話予約(0463-81-1211)

※チケットぴあ、ローチケは別途手数料がかかる場合があります

クアーズテック秦野
カルチャーホール
(秦野市文化会館)



〒257-0015 神奈川県秦野市平沢82 Tel 0463-81-1211

第1～第7駐車場 約850台(無料)※開場時間は異なります

※新型コロナウイルス感染症予防のため、ご来場の際は検温のご協力をお願いいたします ※未就学児の入場はご遠慮ください

主催 (株)タウンニュース社

Program

シサスク：エイヴェレの惑星たちより 第2番
バッハ＝ブラームス：シャコンヌ
ノルドグレン：小泉八雲の「怪談」によるバラードⅡより 振袖火事
ピアノ：舘野泉

吉松 隆：KENJI…宮澤賢治に寄せる

(詩：宮澤賢治／構成・曲：吉松隆)

～やまなし／宛名のない手紙／烏百熊／星巡りの歌／牧歌／オホーツク挽歌より／銀河鉄道の夜より

ピアノ：舘野泉 朗読：草笛光子

宮澤賢治の世界

宮澤賢治の「宛名のない手紙」を携え「オホーツク挽歌」「星巡りの歌」、そして「銀河鉄道の夜」へと宏大な旅をしていく我々は一体どこへたどり着くのだろう。遠く宇宙の涯かもしれないし、着地するのは以外と自分の心なのかもしれない。

※演奏者の都合により、当日曲目変更の場合がございます。予めご了承ください。

Profile



©Akira Muto

舘野 泉

Izumi Tateno

クラシック界のレジェンド、86歳ピアニスト。領域に捉われず、分野にこだわらず、常に新鮮な視点で演奏芸術の可能性を広げ、不動の地位を築いた。人間味に溢れ、豊かな叙情をたたえる演奏は、世界中の幅広い層の聴衆から熱い支持を得て、深く愛され続ける。ピュアで透明な旋律を紡ぎだす、この孤高の鍵盤詩人は、2002年に脳溢血で倒れ右半身不随となるも、しなやかにその運命を受けとめ、「左手のピアニスト」として活動を再開。尽きることのない情熱を、一層音楽の探求に傾け、独自のジャンルを切り開いた。「舘野泉の左手」のために捧げられた作品は、10ヶ国の作曲家により、120曲にも及ぶ。命の水脈を辿るよう取り組んだ作品は、聴くものの心に忘れがたい刻印を残す。「真の巨匠」の風格は、揺るぎない信念とひたむきな姿がもたらす、最大の魅力である。最新CD「風に…波に…鳥に…」。著書「舘野泉フォトストーリー」がある。南相馬市民文化会館(福島県)名誉館長、日本シベリウス協会名誉会長、日本セヴラック協会顧問、サン・フェリクス＝ロウラゲ(ラングドック)名誉市民。公式HP <http://www.izumi-tateno.com>

幾つになっても若々しく美しい草笛さんを鯨に例えたらお叱りを受けるかもしれないが、ミュージカルや映画演劇など大きな世界をめぐり抜けてきた草笛さんは、大海原を悠々と泳ぐ鯨のように、自然でおおらかにまっすぐである。一緒に演奏をしていると、自分自身も鯨のような気持ちになるので、我々の演奏は二頭の鯨が数知れぬ波頭を乗り越え、深海に潜るようなものかもしれない。(舘野泉)



草笛 光子

Mitsuko Kusabue

神奈川県横浜市生まれ。1950年、松竹舞踊音楽学校を経て、松竹歌劇団入団。53年、松竹から映画デビュー。59年日本テレビ「光子の窓」で人気を得、その後着実に実力派女優として様々な舞台で充実した活動を広げる。テレビ、映画、舞台ともに代表作は多く、99年紫綬褒章、05年旭日小綬章を受章。1人芝居「私はシャーリー・ヴァレンタイン」などで、芸術祭賞を3度受賞。「和宮様御留」「女たちの忠臣蔵」で、菊田一夫演劇賞、「エイミーズ・ヴェー」「ウィット」で読売演劇賞優秀女優賞、98年にNHK放送文化賞、今年読売演劇大賞芸術栄誉賞を受賞している。舞台では「火刑台上のジャンヌダーク」「ラ・マンチャの男」「シカゴ」等、映画では「老親」「雪に願うこと」等、テレビでは「八代将軍吉宗」「あぐり」「利家とまつ」「熟年離婚」「どんと晴れ」「まれ」「鎌倉殿の13人」等がある。著書に自分史『光子の扉を開けて』『いつも私で生きていく』『草笛光子のクローゼット』がある。

日本はもとより、世界中を演奏して廻っていらっしゃる、私より3才歳下の舘野さんは、大変穏やかで静かな方で、何事にも動じない、私に欠けているものすべてを持っていらっしゃるようです。ピアノの音色は勿論の事、おそばにいただけでホッとする方です。本当の人格者とは、こうゆう方の事を云うのではないのでしょうか。何回かの共演をさせて頂いていますが、二人の共演の時、フィナーレで手をつないで客席におじぎをする時には、小学生に戻ったようで、楽しく嬉しい気分です。(草笛光子)